

# 平成21年度 事業計画のあらまし

## 平成21年度事業計画のポイント

### 【完成事業】

- ・ 手取川水系牛首川 てどりがわ うしくびがわ べっとうであい 別当出合床固工群の整備完成
- ・ 直轄石川海岸 こまつ (小松工区)の整備推進【人工リーフ6基目完成】
- ・ 国道159号 つばた 津幡バイパスの全線完成
- ・ 国道159号 かなざわとうぶ 金沢東部環状道路(鈴見交差点立体化)の完成

### 【継続事業等】

- ・ 手取川水系手取川 てどりがわ てどりがわ 堤防の質的整備の推進(急流河川対策)
- ・ 手取川水系手取川 てどりがわ てどりがわ 自然再生事業
- ・ 梯川水系梯川 かけはしがわ かけはしがわ かけはしがわ 梯川重点区間改修事業の推進
- ・ 手取川水系牛首川 てどりがわ うしくびがわ べっとうだに 別当谷法面对策工の整備推進
- ・ 手取川水系牛首川 てどりがわ うしくびがわ おなばら 女原上流砂防えん堤の整備推進
- ・ 手取川水系 てどりがわ 砂防えん堤補強対策の整備推進
- ・ 甚之助谷上流山腹工 じんのすけだに の整備推進
- ・ 甚之助谷地区地すべり対策事業 じんのすけだに の整備推進
- ・ 国道470号 わじま 輪島道路の事業推進
- ・ 国道470号 ななおひみ 七尾氷見道路の事業推進
- ・ 国道8号 かが 加賀拡幅の事業推進
- ・ 国道8号 こまつ 小松バイパスの事業推進
- ・ 国道157号 こうりんぼう のまちはろこうじ 香林坊拡幅(野町広小路交差点改良)の事業推進
- ・ 国道159号 ななお 七尾バイパスの事業推進
- ・ 国道159号 はくい 羽咋道路の事業推進
- ・ 防災・震災対策の推進
- ・ 交通事故対策の推進
- ・ バリアフリー対策の推進
- ・ 無電柱化の推進

## 1. 基本方針

限られた予算の中、効果の高い事業への重点投資を図り、事業評価の厳格な実施、公

共工事のコスト縮減、入札・契約制度に係る競争性・透明性の向上の実施により、一層効果的かつ効率的に事業を推進するとともに、現在進行中のプロジェクトの早期供用を推進します。

## 2. 主要施策

### ◆ 広域的連携交流・活力ある地域づくり ◆◆

#### (道路事業)

#### 【完成事業】

- 国道159号 <sup>つばた</sup>津幡バイパス事業の全線完成 …資料1  
(予算額 約6.3億円)

<sup>つばた</sup>津幡バイパスは、地域高規格道路「<sup>つきうらしろお</sup>月浦白尾IC連絡道路」の一部であり、<sup>つばたまち</sup>津幡町地内の交通混雑の緩和及び<sup>かなざわ</sup>金沢市と<sup>の</sup>能登地域との連携強化を目的とする道路です。平成21年度は、<sup>うちひすみ</sup>かほく市内日角～<sup>つばたまちしょう</sup>津幡町庄地区の改良及び舗装工事を完成させ、<sup>つばた</sup>津幡バイパス(<sup>うちひすみ</sup>内日角～<sup>しょう</sup>庄間)4車線化の延長約4.7kmを供用する予定です。(かほく市、<sup>かなざわ</sup>河北郡津幡町)

- 国道159号 <sup>かなざわ</sup>金沢東部環状道路(鈴見交差点立体化)の完成 …資料2  
(予算額 約22.7億円)

<sup>かなざわとうぶ</sup>金沢東部環状道路は、<sup>やまがわかんじょう</sup>山側環状の一部を構成し、<sup>ほくりく</sup>北陸自動車道や<sup>の</sup>能登有料道路とあわせて、広域的な道路ネットワークの形成を目的とした延長約9.4kmの事業です。現在は、増加している交通を円滑に処理するため、<sup>すずみ</sup>鈴見交差点の立体化を推進しています。平成21年度は、<sup>すずみ</sup>鈴見高架橋(仮称)(L=102m)の上部及び舗装工事を完成させ、<sup>すずみ</sup>鈴見交差点立体化の延長 L=0.7km を供用する予定です。また、<sup>うたつ</sup>卯辰トンネルⅡ期線(L=1,199m)及び<sup>かなざわ</sup>神谷内アクセス道路の工事を推進します。(金沢市)

#### 【継続事業等】

- 国道470号 <sup>わじま</sup>輪島道路【<sup>のうえつ</sup>能越自動車道】の事業推進 …資料3  
(予算額 約0.5億円)

<sup>わじま</sup>輪島道路は、高規格幹線道路の国道自動車専用道路として整備を進めている「<sup>のうえつ</sup>能越自動車道」の一部であり、石川県<sup>わじま</sup>輪島市<sup>みいまちほんごう</sup>三井町本江の<sup>みい</sup>三井IC(仮称)から同市<sup>みいまちすえ</sup>三井町洲衛の<sup>の</sup>能登空港 IC に至る、高規格幹線道路網の形成と交通事故の減少を目的とした延長4.7kmの事業です。平成21年度は、調査・設計等を推進する予定です。(輪島市)

- 国道470号 <sup>ななおひみ</sup>七尾氷見道路【<sup>のうえつ</sup>能越自動車道】の事業推進 …資料4

(予算額 約70.6億円)

七尾氷見道路は、高規格幹線道路の国道自動車専用道路として整備を進めている「能越自動車道」の一部であり、石川県七尾市八幡(七尾IC(仮称))から富山県境の延長約13.6kmで事業を推進しています。平成21年度は、用地買収及び改良・橋梁工事を推進し、七尾トンネル(仮称)(L=1,760m)を完成させる予定です。(七尾市)

○ 国道8号 加賀拡幅の事業推進 ……資料5

(予算額 約21.4億円)

加賀拡幅は加賀市内における国道8号の交通渋滞の緩和を目的とした、石川県加賀市箱宮町から同市黒瀬町に至る延長6.4kmの拡幅事業です。平成21年度は、用地買収を推進するとともに、加賀市箱宮町～松山町間の延長約2.0kmの改良及び舗装工事を推進します。(加賀市)

○ 国道8号 小松バイパスの事業推進 ……資料6

(予算額 約0.9億円)

小松バイパスは交通需要をはじめとする諸問題に対応し、金沢バイパス、金沢西バイパス並びに、加賀産業開発道路(主要地方道金沢小松線)と接続することにより、主要幹線道路としての機能を十分発揮するとともに、小松加賀地方圏の更なる発展に大きく寄与する事を目的とした延長約15.6kmの事業です。平成21年度は調査・設計を推進します。(小松市)

○ 国道159号 七尾バイパスの事業推進 ……資料7

(予算額 約4.1億円)

七尾バイパスは、国道159号の七尾市街地の交通混雑緩和と交通安全の確保を目的とした、七尾市川原町から同市下町に至る延長約4.3kmのバイパス事業です。平成21年度は、藤野地区の用地買収を推進します。(七尾市)

○ 国道159号 羽咋道路の事業推進 ……資料8

(予算額 約0.5億円)

羽咋道路は、国道159号の一部を形成し、現道部の渋滞・事故の改善、能登有料道路へのアクセス向上等を目的とした延長約6.7kmのバイパス事業です。平成21年度は、調査・設計を推進します。(羽咋市)

◆ 安全で安心な地域づくり ◆◆

(治水事業)

【完成事業】

- 手取川水系別当出合床固工群の整備完成(白峰地区) ……資料9

(予算額 約2.5億円)

土石流等の土砂災害に対して登山者、登山道の安全確保、登山基地である別当出合登山センターやアクセスルートである県道白山公園線の安全度向上を図るため、平成21年度は別当出合床固工群の整備完成を目指します。(白山市)

- 直轄石川海岸(小松工区)の整備推進 ……資料10

(予算額 約7.2億円)

海岸侵食が著しく護岸等の被災が頻発している小松工区で、侵食対策として人工リーフ(6基目暫定完成)を整備します。(小松市)

【継続事業等】

- 堤防の質的整備の推進(急流河川対策)【手取川】 ……資料11

(予算額 約1.7億円)

急流河川の洪水エネルギーに対して十分な安全性を確保するため、既設堤防に腹付け盛土をするとともに光ファイバーケーブルによる侵食モニタリングセンサーの整備を実施します。平成21年度は能美郡川北町朝日地区において整備を推進します。(能美郡川北町)

- 大規模引堤による治水安全度向上(重点区間改修)【梯川】 ……資料12

(予算額 約17.8億円)

前川合流点から鍋谷川合流点までの間を重点改修区間と位置づけ、下流部より順次引堤による堤防整備を行っており、引き続き重点改修区間の堤防整備(引堤)等を推進します。平成21年度は、小松地区の堤防整備(引堤)を推進するため用地補償等(水路・市道付替等)、附帯施設(小松大橋・天神水管橋等)の改築及び上小松地区の低水護岸等を推進します。(小松市)

- 手取川水系別当谷法面对策工の整備推進(白峰地区) ……資料13

(予算額 約0.5億円)

更なる法面崩壊の拡大を防止するとともに、登山道(砂防新道)ならびに砂防工事用道路の安全度を向上するため、別当谷法面对策工の整備を推進します。(白山市)

- 手取川水系女原上流砂防えん堤の整備推進(女原地区) ……資料14

(予算額 約1.5億円)

白山市女原上・下溪流は、溪床に堆積した土砂が豪雨等によって土石流化する恐れがあり、下流の民家や研修センター、集会所などに被害を及ぼす恐れがあることから土石流危険溪流に指定されています。女原地区を土石流災害から保全するため、土石流対策の整備を実施します。(白山市)

○ 手取川水系砂防えん堤補強対策の整備推進(牛首川・尾添川) ……資料15  
(予算額 約8.1億円)

手取川水系の砂防事業は、大正元年に石川県、昭和2年からは国による工事が実施され、老朽化や不安定な状態となっている砂防えん堤が多数存在しています。土石流や大規模土砂流出に備え、機能・安全度の評価により機能低下及び下流への影響が大きい施設から順次補修・補強等の機能保全を図る必要があります。平成21年度は引き続き、手取川水系における砂防えん堤の補強を図ります。(白山市)

○ 甚之助谷上流山腹工の整備推進(白峰地区) ……資料16  
(予算額 約0.5億円)

甚之助谷上流部は、昭和初期に建設された階段式の砂防堰堤の右岸袖部が破壊され、山脚の浸食が進んでいます。このまま浸食が進んだ場合、大規模な崩壊へと発展する可能性があるとともに、斜面上部には登山道(砂防新道)もあるため早急な対策工を行う必要があります。平成21年度は引き続き、甚之助谷上流において山腹工の整備を推進します。(白山市)

○ 甚之助谷地区地すべり対策事業の整備推進(白峰地区) ……資料17  
(予算額 約4.2億円)

白山の南西側斜面、手取川の最上流部に位置する甚之助谷地区において、地すべりの原因となる地下水の排除を主体とした地すべり防止対策事業を推進します。(白山市)

(道路事業)

【完成事業】

○ 国道8号 犀川橋(下り) 橋梁補修の完成 ……資料18  
(予算額 約0.25億円)

橋梁定期点検により発見された、鋼製高欄の腐食及び床版の剥離・鉄筋腐食等の補修を行うものであり、橋梁の長寿命化を図り、安全・安心な道路ネットワーク確保を目的とした工事です。平成21年度は、高欄の部分取替や床版の断面補修などを推

進し、年度内の完成を目指します。(金沢市)

## 【継続事業等】

- 国道157号 香林坊<sup>こうりんぼう</sup>拡幅【野町<sup>のまち</sup>広小路<sup>ひろこうじ</sup>交差点改良】の推進 ……資料19  
(予算額 約0.5億円)

香林坊<sup>こうりんぼう</sup>拡幅は、安全で円滑な道路交通の確保、都市景観の向上、快適な歩行者空間の創出を目的として、金沢市<sup>かなざわ</sup>の都心軸である国道157号の青草町<sup>あおくさまち</sup>(むさし交差点)～野町<sup>のまち</sup>間において広幅歩道の整備や電線類の地中化等を実施している延長約1.6kmの拡幅事業です。平成21年度は、野町<sup>のまち</sup>地区の用地買収及び改良工事(占用物件移設工事)を推進します。(金沢市)

- 国道8号 大岩橋<sup>おおいわばし</sup>橋梁耐震補強工事の推進 ……資料20  
(予算額 約1.5億円)

地震時における救助・救援活動、緊急物資輸送の確保のため、緊急輸送道路に位置づけられた橋<sup>きょうりょう</sup>梁の耐震補強を行う工事です。平成21年度は、国道8号大岩橋<sup>だいいわばし</sup>の橋脚の巻き立て補強などを推進します。(河北郡津幡町<sup>かほく つばたまち</sup>)

- 国道157号 堀内北<sup>ほりうちきた</sup>交差点改良事業の推進【交通事故対策】 ……資料21  
(予算額 約1.0億円)

国道157号野々市町堀内<sup>ののいちまちほりうち</sup>地区は、朝・夕の通勤・通学時を中心に慢性的な渋滞が発生しています。堀内北交差点では右折車線がないことから、この渋滞に拍車をかけるとともに交通事故も多く発生しています。このため、車道拡幅により片側2車線の確保、歩道拡幅、右折車線を設置し、自動車及び自転車・歩行者等交通の安全を確保します。平成21年度は用地買収及び工事を実施し事業を推進します。

- 国道159号 子浦<sup>しお</sup>自歩道事業の推進【バリアフリー対策】 ……資料22  
(予算額 約3.0億円)

国道159号宝達志水町子浦<sup>ほうだつしみずちょうしお</sup>地区は家屋連担部であり、近接する志雄<sup>しお</sup>小学校や志雄<sup>しお</sup>中学校の通学路に指定されていますが、無歩道区間や歩道幅員が狭小な区間が存在し、通学児童・生徒や通勤・通学の自転車などが危険な状態となっていることから、安心して利用できる通行空間を確保するため、歩道拡幅及びバリアフリー化を行います。平成21年度は用地買収及び工事を実施し事業を推進します。

- 国道159号 橋場<sup>はしば</sup>自歩道事業の新規着手【バリアフリー対策】 ……資料23

(予算額 約1.8億円)

国道159号<sup>かなざわ</sup>金沢市<sup>はしば</sup>橋場町地区は、観光需要の高い路線であるとともに、地域住民の通勤・通学における自転車・歩行者の利用も多い路線ですが、車道幅員及び歩道幅員が狭小で自転車や通学児童・生徒などが危険な状態となっています。このため、車道拡幅による片側2車線確保、歩道拡幅、無電柱化及びバリアフリー化により安心して利用できる通行空間を確保するため、平成21年度から用地買収に新規着手します。  
(<sup>かなざわ</sup>金沢市)

## ◆ 美しさと文化の香りがする地域づくり ◆◆

(治水事業)

【継続事業等】

○ 魅力ある河川空間の創出(自然再生事業)【<sup>てどりがわ</sup>手取川】 ……資料24

(予算額 約0.9億円)

かつて、手取川は<sup>せんじょうち</sup>扇状地河川の特徴としての原風景である「石の河原」が手取川全川に広がっていましたが、現状で<sup>かしょう</sup>河床の低下により一部<sup>かしょう</sup>河床に<sup>るしゅつ</sup>岩が露出してきており、河川の流況によっては、魚類等の生息環境が悪化してきているため、バランスのとれた河川環境の保全に配慮しつつ、石川県の名の由来となった手取川の原風景である「石の河原」の復元に取り組みます。(白山市<sup>はくさん</sup>)

(道路事業)

【継続事業等】

○ 無電柱化の推進 ……資料25

(予算額 約4.4億円)

都市景観や防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保を目的として、国道157号<sup>よこみや</sup>横宮電線共同溝(野々市町<sup>ののいちまち</sup>)などにおいて、電線類の地中化を推進します。